

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年08月02日

計画の名称	幸田町における循環のみの実現															
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	幸田町															
計画の目標	下水道の整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な生活環境を創造する。															
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		261	A	261	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)		(R4末)
1	下水道による北部処理分区の整備率を0％（H30）から100％（R4）に増加させる。			
	北部処理分区の整備率	0%	%	100%
	整備済延長（m）／計画延長（m）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	幸田町	直接	幸田町	管渠（ 汚水）	新設	北部処理分区	下水道管 L=2, 000m	幸田町	■	■	■	■	■	241		－
	A07-002	下水道	一般	幸田町	直接	幸田町	管渠（ 汚水）	－	下水道ストックマネジメ ント	点検・調査 L=5, 900m	幸田町	■	■	■	■	■	20		策定済
		下水道ストックマネジメント計画																	
											小計						261		
											合計						261		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
幸田町下水道課で実施	事業終了後（令和5年度）
	公表の方法
	幸田町のホームページに記載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・下水道整備を行った結果、事業実施区域の快適な暮らしを実現できるものとなり、周辺においても良好な環境水域を保つ基盤が整った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
・北部処理分区（坂崎）の整備を行っていく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	整備済延長（m）／計画延長（m）		
	最 終 目 標 値	100%	河川占用に係る県との協議において、設置予定の水管橋の構造を修正することとなり、新たに設計業務を発注することとなったため、管路の布設時期を変更した。また、流入先である岡崎市との協議の中で、町の計画ルートが岡崎市の硫化水素発生対策の基準に合致せず、マンホールの設置箇所や管きよの勾配等を修正することとしたため。
	最 終 実 績 値	73%	

